

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	愛知文教女子短期大学
設置者名	学校法人 足立学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学科名	専攻名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
生活文化学科	食物栄養専攻	夜・通信			11	11	7	
	生活文化専攻	夜・通信			11	11	7	
幼児教育学科第1部		夜・通信			21	21	7	
幼児教育学科第3部		夜・通信			25	25	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	愛知文教女子短期大学
設置者名	学校法人 足立学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://adachi.dmdc.jp/public> 事業報告書（平成30年度）P6に掲載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	企業取締役	平成29年8月10日～ 令和4年8月9日	財務、人事、経営計 画等法人全般
非常勤	企業取締役社長	平成30年12月1日～ 令和5年11月30日	財務、人事、経営計 画等法人全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	愛知文教女子短期大学
設置者名	学校法人 足立学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>愛知文教女子短期大学シラバス作成ガイドライン http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure</p> <p>シラバス http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure</p> <p>履修案内（刊行物）</p> <p>HP掲載のシラバス作成ガイドライン、シラバス及び刊行物の履修案内で、履修と単位の修得について、各科目の年間の授業計画、各科目と学習成果の関係を示すカリキュラムツリー、各学科、専攻、コースの科目一覧となるカリキュラム表、各種の資格の取得となる科目を公表、学生に周知している。</p>	
授業計画の公表方法	http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修の成績に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準 http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure</p> <p>シラバス http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure</p> <p>シラバスの成績評価に基づき、教科担任が学修成果を厳格・適正に評価し、「S」「A」「B」「C」「D」と表し、「S」「A」「B」「C」を合格とし単位を認定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>愛知文教女子短期大学成績評価規程 http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure</p> <p>客観的な指標となる GPA 制度を設け、学業結果を総合的に判断する指標としている。学生自身が履修状況を確認するため、半期ごとの成績発表時に学生に公表する。</p> <p><算出方法> 次の計算式により単位あたり平均を算出する。 $G P A = \frac{[GP (その科目で得た評価点) \times (科目の単位数)] の合計}{(履修した単位数) の合計}$</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマポリシー http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure</p> <p>生活文化学科 食物栄養専攻 食と健康について高度な知識、技術と教養を身につけ、社会に貢献できる専門的能力を有すること。</p> <p>生活文化専攻 医療秘書・医療事務の知識、技術を身につけ、あるいはビジネス実務と幅広い教養を身につけ、ホスピタリティの心を持ち、主体的に社会に貢献できる専門的能力や資格を有すること。</p> <p>幼児教育学科第1部、第3部 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな育ちを支える幼児教育、保育に関する専門的知識、技術を有していること。 ・豊かな教養を身につけた保育者として社会に貢献しようとする意欲や態度を有していること。 ・社会人として高い基礎力を有していること。 </p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	愛知文教女子短期大学
設置者名	学校法人 足立学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://adachi.dmdc.jp/public
収支計算書又は損益計算書	http://adachi.dmdc.jp/public
財産目録	http://adachi.dmdc.jp/public
事業報告書	http://adachi.dmdc.jp/public
監事による監査報告(書)	http://adachi.dmdc.jp/public

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure

(2) 認証評価の結果

公表方法: http://www.ai-bunkyo.ac.jp/guide/daisansyahyouka

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法: http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure) (概要) 建学の精神に基づき、教育理念、教育目標を定め、各学科ごとに教育目的・教育目標を定め、公表している。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure) (概要) 各学科・専攻・コースが定める卒業に必要な科目及び単位を修得し、次の能力を備えた学生に卒業、修了を認定する。
生活文化学科 食物栄養専攻 食と健康について高度な知識、技術と教養を身につけ、社会に貢献できる専門的能力を有すること。 生活文化専攻 医療秘書・医療事務の知識、技術を身につけ、あるいはビジネス実務と幅広い教養を身につけ、ホスピタリティの心を持ち、主体的に社会に貢献できる専門的能力や資格を有すること。
幼児教育学科第 1 部、第 3 部 ・子どもの健やかな育ちを支える幼児教育、保育に関する専門的知識、技術を有していること。 ・豊かな教養を身につけた保育者として社会に貢献しようとする意欲や態度を有していること。 ・社会人として高い基礎力を有していること。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure) (概要) (1) 生活文化学科 ① 食物栄養専攻 ・実社会で役立つ栄養士養成カリキュラムを構成する。 ・食に関する高度な専門知識を身につけるための選択科目を置く。 ・調理技術の向上を見据えた少人数制のフォローアップ講座を置く。 ② 生活文化専攻 ・社会で活躍する女性としての教養や人間性を育成するカリキュラムを構成する。 ・医療秘書・医療事務に関する専門知識もしくはビジネス・情報処理に関する専門知識を身につけるための選択科目を置く。 ・職業意識を高めるための実践的な学びの科目を置く。 (2) 幼児教育学科第 1 部、第 3 部 ・社会に貢献できる保育士・幼稚園教諭の養成カリキュラムを編成する。 ・幼児教育・保育に関する多様な専門知識と技術の修得を助けるための選択科目を置く。 ・保育技術向上を見据えた体験的な学びの講座を置く。 ・午後の時間を自主的学びの場とするために、自主学習の支援を行う。(第 3 部の み)

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure>）

（概要）

<生活文化学科 食物栄養専攻>

- ・食と健康について関心が高い人
- ・本専攻での学習に必要な一定水準の基礎学力を身につけている人
- ・栄養士の職を理解し、専門分野で力を発揮する意欲が高い人

<生活文化学科 生活文化専攻>

- ・ビジネス社会もしくは医療とホスピタリティについて関心が高い人
- ・本専攻での学習に必要な一定水準の基礎学力を身につけている人
- ・高いコミュニケーション能力と専門知識や接遇スキルを学ぶ意欲が高い人

<幼児教育学科 第1部、第3部>

- ・幼児教育、保育に強い関心を持つ人
- ・温かな人間性としなやかな感性、主体性、倫理観、コミュニケーション能力、高い学習意欲を持つ人

① 教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1・2人	—					3人
生活文化学科	—	4人	4人	2人	1人	—人	11人
幼児教育学科第1部	—	3人	3人	3人	2人	—人	11人
幼児教育学科第3部	—	4人	1人	1人	1人	—人	7人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
—人		63人					63人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
生活文化学科	70人	66人	94%	140人	164人	117%	0人	0人
幼児教育学科第1部	80人	85人	106%	160人	167人	104%	0人	0人
幼児教育学科第3部	70人	72人	103%	210人	246人	117%	0人	0人
合計	220人	223人	101%	510人	577人	113%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
生活文化学科	85人 (100%)	1人 (1%)	80人 (94%)	4人 (5%)
幼児教育学科第1部	85人 (100%)	0人 (0%)	84人 (99%)	1人 (1%)
幼児教育学科第3部	72人 (100%)	1人 (1%)	66人 (92%)	5人 (7%)
合計	242人 (100%)	2人 (1%)	230人 (95%)	10人 (4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				

(備考)					
c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

② 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>愛知文教女子短期大学シラバス作成ガイドライン http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure シラバス http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure 履修案内（刊行物） HP 掲載のシラバス作成ガイドライン、シラバス及び刊行物の履修案内で、履修と単位の修得について、各科目の年間の授業計画、各科目と学習成果の関係を示すカリキュラムツリー、各学科、専攻、コースの科目一覧となるカリキュラム表、各種の資格の取得となる科目を公表、学生に周知している。</p>

③ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>愛知文教女子短期大学成績評価規程 http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure 客観的な指標となる GPA 制度を設け、学業結果を総合的に判断する指標としている。学生自身が履修状況を確認するため、半期ごとの成績発表時に学生に公表する。</p>				
学科名	専攻名	卒業に必要な単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
生活文化学科	食物栄養専攻	62 単位	有・無	単位
	生活文化専攻	62 単位	有・無	単位
幼児教育学科第 1 部		62 単位	有・無	単位
幼児教育学科第 3 部		62 単位	有・無	単位
GPA の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure

⑧授業料、入学料その他の大学等が徴収する費用に関すること

学科名	専攻名	授業料 (年間)	入学金	施設費	教育充実費	合計
生活文化学 科	食物栄養 専攻	600,000 円	200,000 円	150,000 円	320,000 円	1,270,000 円
	生活文化 専攻	600,000 円	200,000 円	150,000 円	320,000 円	1,270,000 円
幼児教育学 科第1部		600,000 円	200,000 円	150,000 円	320,000 円	1,270,000 円
幼児教育学 科第3部		330,000 円	200,000 円	60,000 円	100,000 円	690,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学内の情報共有を図り、学習成果の獲得状況や学習到達度の把握に努め、学生との面談や保護者と連携を取る等、学生のサポートに当たっている。また、進度の遅い学生には、文教アワーの時間やステップアップ講座を実施し苦手分野を集中的に学習できるようにしている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア支援センターを中心としてアドバイザーと連携し、進路決定に向けての個人進路相談、各企業説明会や求人内容に関する情報提供、受験対策として履歴書添削・面接試験模擬面接・論作文添削・就職試験対策用図書の紹介・受験報告書を利用したアドバイス、入学から卒業まで継続的にキャリア支援を行う進路ガイダンスなどを実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) アドバイザーと学生相談室とが連携して専門的な相談を実施している。定期健康診断を外部医療機関に委託し、結果は本人に知らせると共に、検査結果に問題がある場合は、医務室の看護師やカウンセラーが相談・指導を行っている。また、入学時に健康上の留意点などを把握する調査票を運用している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure>